



### 3. 月別ウイルス検出件数

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
A型肝炎	HAV					1								1
つつが虫病	Kawasaki			1										1
	Karp					1								1
デング熱														0
急性脳炎														0
麻疹	Measles		1											1
	HHV6	1				2								3
	HHV7													0
	Rubella		1											1
	PVB19													0
感染性胃腸炎等	NV(G1)				2									2
	NV(G2)	72	42	21	14	8								157
	SV			2		2								4
	RotaA	3	5	4	10	2								24
手足口病														0
ヘルパンギーナ														0
インフルエンザ	AH1													0
	A(H1N1)2009													0
	AH3	69	87	10	4	1								171
	B	23	13	20	9									65
	A(H1N1)2009 オセルタミビル 耐性株													0
流行性角結膜炎													0	
無菌性髄膜炎	エコーウイルス3													0
	エコーウイルス6													0
その他	PVB19				1									1

#### 【ウイルスの略語】

HAV(A型肝炎ウイルス)、Measles(麻疹ウイルス)、HHV6(ヒトヘルペスウイルス6型)

HHV7(ヒトヘルペスウイルス7型)、Rubella(風疹ウイルス)、PVB19(ヒトパルボウイルスB19型)

NV(ノロウイルス)、SV(サポウイルス)、RotaA(A群ロタウイルス)

AH1(Aソ連型)、A(H1N1)2009(2009年流行株)、AH3(A香港型)

#### トピックス

##### A群ロタウイルス胃腸炎

今シーズン(2011年11月から2012年5月までの期間)、A群ロタウイルスの集団感染が12施設(患者数210名)で発生しました。本県では、これまでにない流行です。

A群ロタウイルス胃腸炎は、冬から春にかけて乳幼児に多く起こる病気です。多くは突然の嘔吐で発症し、引き続き水様性の下痢と発熱がみられます。下痢は、通常の下痢症とは異なり、日を追って増悪していくので、十分な水分補給が必要です。同じような症状を示すノロウイルス胃腸炎に比べると症状は重いですが、3~7日程度で治癒します。

一般に予後は良好ですが、合併症には注意が必要です。脱水が最も多い合併症であり、約40人に1人の割合で重症化し、入院しています。それ以外にもけいれん、脳炎・脳症などがありますが、今シーズン、県内の医療機関から報告のあった急性脳炎・脳症のうち、2例からロタウイルスが検出されています。

ロタウイルスは感染力がとて強いので、オムツの適切な処理、手洗い、汚れた衣類などの次亜塩素酸消毒が感染拡大防止の基本です。ロタウイルスには、A群のほかB群(国内での検出報告はまだありません)とC群がありますが、これについては別の機会にお話ししましょう。